

東北電カグループ

カーボンニュートラル チャレンジ2050

Tohoku
Electric
Power
Group
Carbon
Neutral
Challenge
2050



再生可能エネルギーと原子力の最大限活用および
スマート社会実現事業で
地域に貢献しカーボンニュートラルへ挑戦

2021年3月24日

より、そう、ちから。
東北電カグループ

70th
Anniversary 2021
Tohoku Electric Power Group

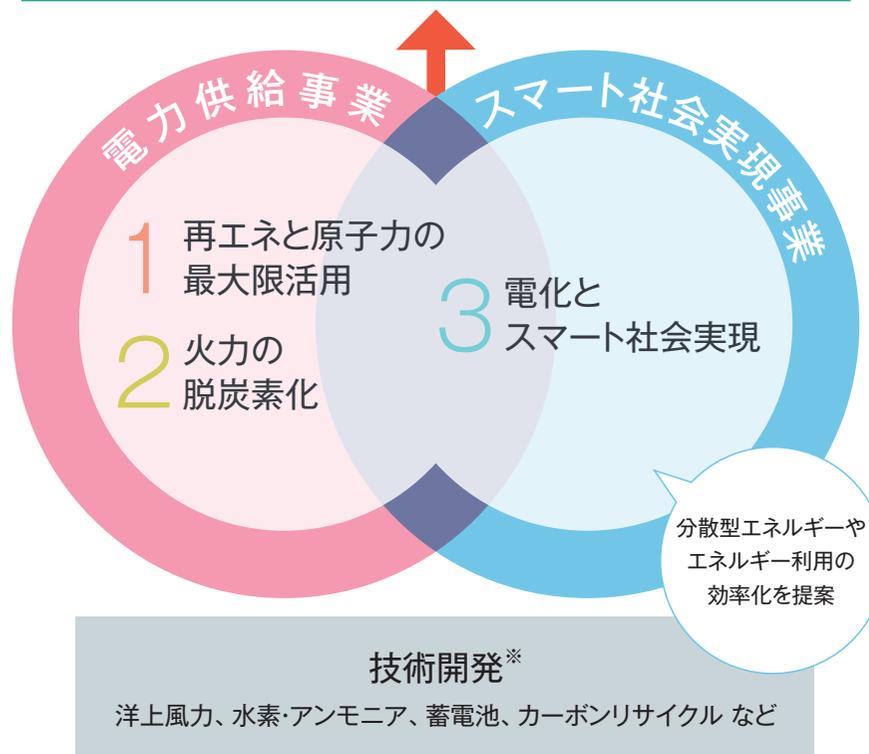


2050年カーボンニュートラル宣言

東北電力グループは、S+3E^{*}の確保を大前提に、2050年カーボンニュートラルに挑戦します。
東北電力グループのCO₂排出削減を加速するとともに、スマート社会の実現を通じて東北・新潟地域をはじめとしたお客さまのCO₂排出削減にも取り組み、地域社会の脱炭素化に貢献してまいります。

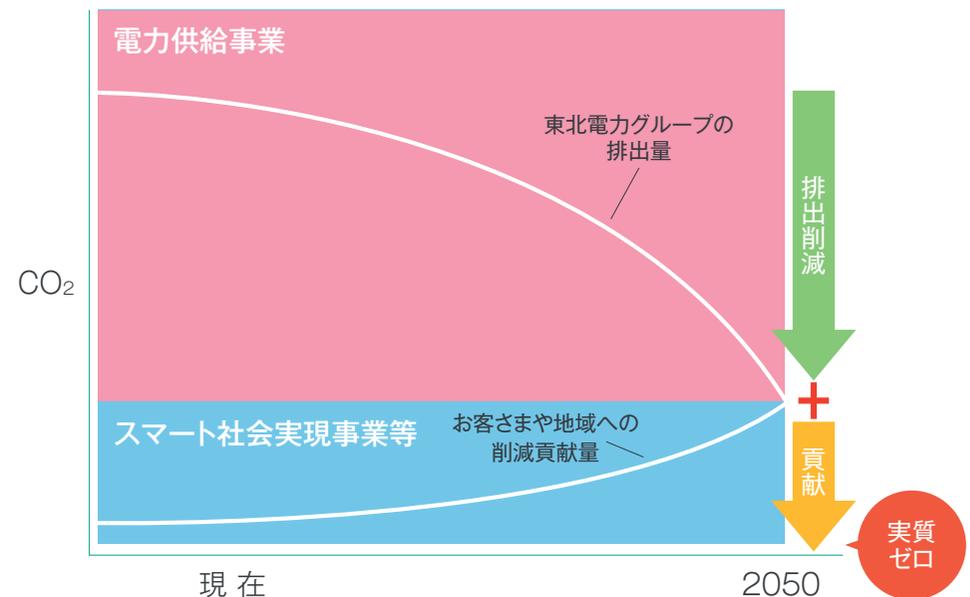
^{*}S+3E:安全性を前提に、環境性、経済性、安定供給の同時達成

電力供給とスマート社会の実現で カーボンニュートラルへ挑戦



^{*}実現可能性を見極めつつ、国や研究機関、他社とも積極的に連携

排出量・削減貢献量のイメージ

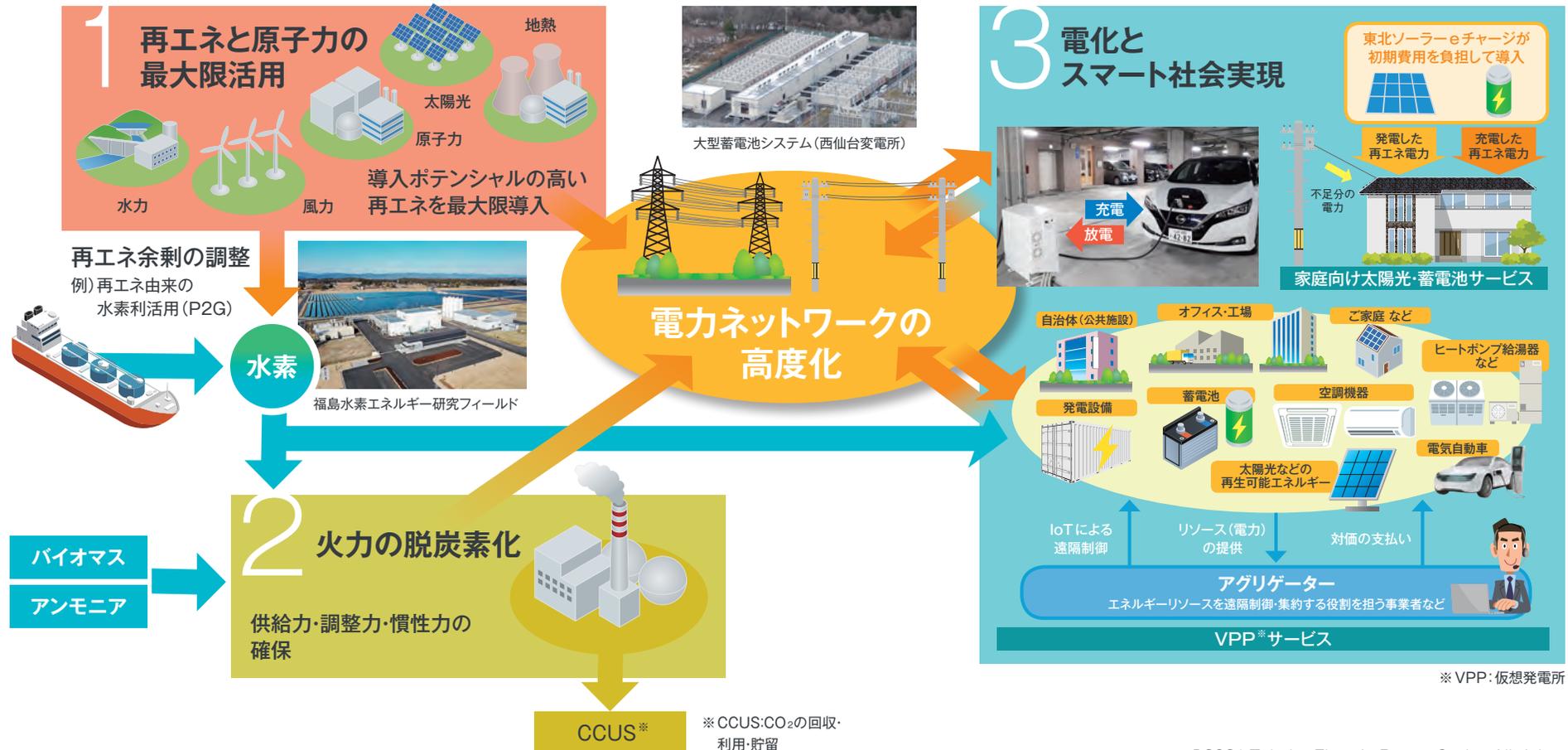




カーボンニュートラル実現に向けて目指す姿

東北電力グループは、クリーンな大規模電源による電力供給と分散型エネルギーやエネルギー利用の効率化を同時に達成した社会の実現を目指します。

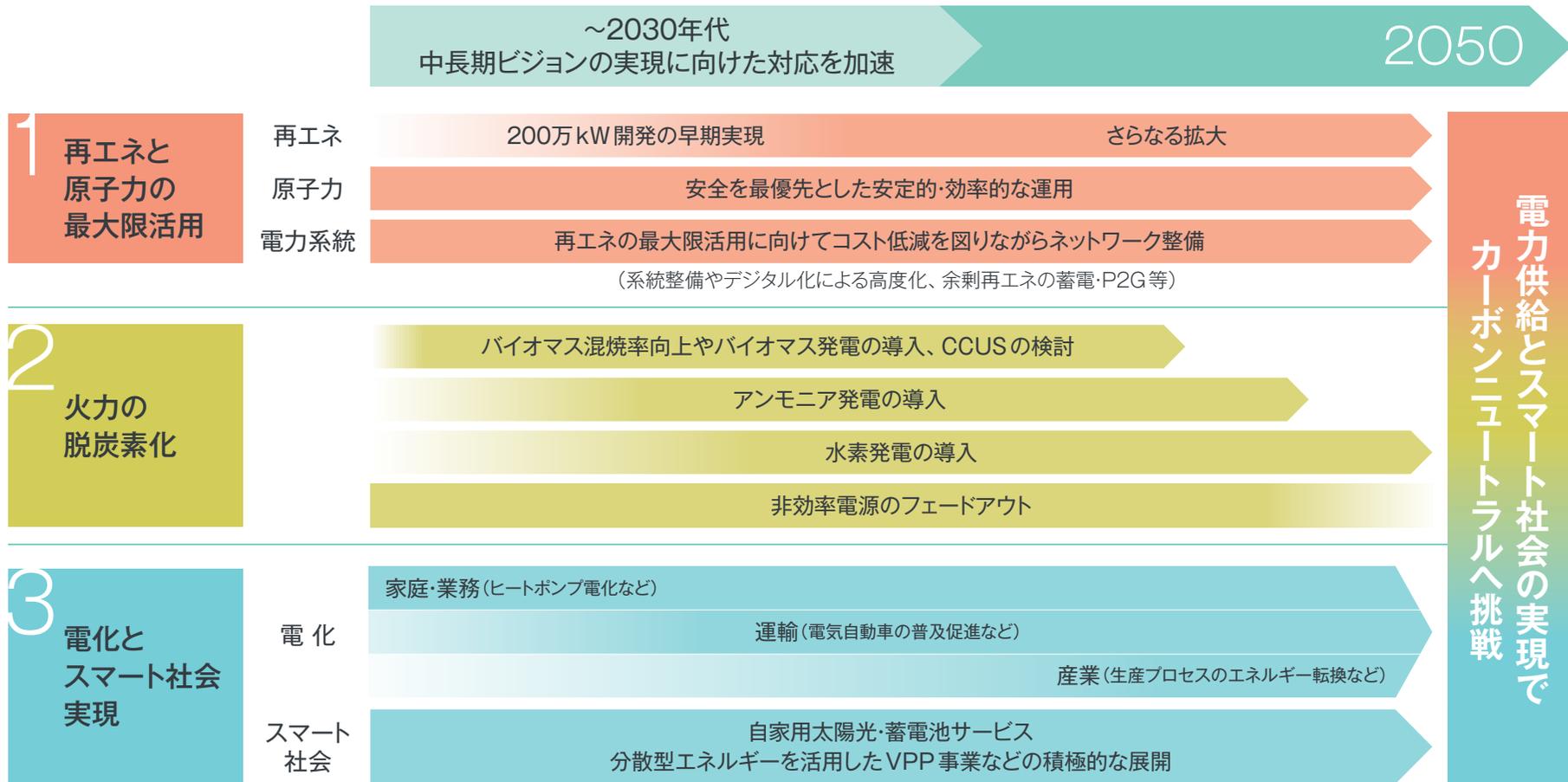
- 再生可能エネルギーを最大限活用するため、風力発電を主軸に200万kW開発の早期達成とさらなる拡大を目指します。
- 原子力発電の安全を最優先とした安定的・効率的な運用を実施していきます。
- 電力ネットワークの高度化、蓄電池、水素利活用などにより再生可能エネルギー導入拡大にも貢献していきます。
- 火力発電については、水素・アンモニア発電の実用化やCCUSの検討などの技術開発へ積極的に取り組みます。
- スマート社会実現事業の展開（VPPサービス等の実装）を通じて、デジタル技術の導入によるエネルギー管理の高度化を進め、地域における分散型エネルギーの有効活用を図ります。





カーボンニュートラル実現に向けたアプローチ

- 洋上風力や地熱発電などの再生可能エネルギーの開発を進めるとともに、火力発電の脱炭素化、スマート社会実現事業によるお客さまや地域のCO₂削減に向けて、技術開発に取り組んでいきます。



※上記の取り組みに加え、大気中のCO₂を吸収除去するなどのネガティブエミッション技術や、CO₂フリーLNG/オフセットの活用も検討
※革新的技術開発には官民挙げた取り組みが必要であり、経済合理性も踏まえながら東北電力グループとして積極的に取り組む